

保護者の皆様

令和6年2月15日

吹田市立南山田小学校
校長 江下 毅

学校アンケートの結果について

「学校教育アンケート」にご協力いただき誠にありがとうございました。

今回、アンケート調査を、FORMSを活用した形式に変更しお願いしたところ691通（回収率は74.4%）の回答をいただき、集計結果をまとめました。例年95%を超える回答をいただいておりますが、今年度はアンケート形態を変更したことによる影響での減少と考え、今後、よりたくさんの回答をいただけるよう啓発が必要と考えております。また、この調査はほぼ同じ項目で実施しており、経年比較も含めた結果をもとに学校の教育活動を検証し、今後の学校教育の活性化や改善の資料として活かしてまいります。

【1. 児童アンケートより】

1 今年度、肯定的意見が増加した項目が増えた傾向がみられます。特に大きく増えた項目は順に以下の項目でした。

【高学年】・地震や火災、不審な人が現れたときどうしたらいいかを教えてもらっている。

- ・自分を大切にし、他者への思いやりを学ぶことがある。
- ・児童会活動はやりがいがある。クラブ活動は楽しい。
- ・学校行事は楽しい。
- ・先生は色々工夫をして教えてくれて授業がわかりやすい。
- ・学校へ行くのが楽しい。

【中学年】・担任の先生の他にも、気軽に相談できる先生がいる。

- ・地震や火災、不審な人が現れたときどうしたらいいかを教えてもらっている。
- ・朝食は毎日食べている

【低学年】・クラスで意見を発表している。

- ・担任の先生の他にも、気軽に相談できる先生がいる。
- ・先生は、いじめなどで私たちが困っていることに対応してくれる。

2 昨年度と比べて、肯定的な回答が大きく減少した項目は以下の項目でした。

【中学年】・授業や学級会で、自分の考えをまとめて、発表することがある。

【低学年】・失敗をおそれずに「やってみよう」という気持ちで、取り組んでいる。

- ・学校の行事は楽しい。
- ・ipadを使って学習している。

今年度は、「成長を実感！」を重点とし、「学校が楽しい」と笑顔でより主体的に活動し、自分たちの頑張りが実感できる児童の育成に取り組んできました。今回の調査では、どの学年においても、肯定的な回答が80%以上の項目が多く、何より80%以上の子どもたちが「学校へ行くのは楽しい」と感じてくれています。また、高学年に上がるにつれて、昨年度と比較をすると、肯定的な回答が増加している傾向がみられます。これは、学校として重点目法を設定し、教職員が同じ方向で子どもたちの成長を意識して取り組んできた成果と考え、うれしく感じていま

す。しかしその中で10%弱の子どもたちが「学校へ行くのは楽しい」と感じていない結果も出ています。それぞれに個別の理由があると思いますが、多様な子ども達の思いを受け止めながらも、学校としての取り組みの意図を伝えることで、子ども達自身が成長を感じることができる取り組みを進める必要があると改めて感じています。

高学年において、「児童会活動はやりがいがある」「クラブ活動は楽しい」「学校行事は楽しい」の肯定的な回答が増えていることは、学校の行事が元に戻りつつある中で、主体的に活躍できる場面を設け、子どもたちが活躍できている結果と考えています。

昨年度まで肯定的回答が少なかった「担任の先生のほかにも、気軽に相談できる先生がいる」については、すべての学年で昨年度より肯定的回答が増加しています。今後も困ったときや気持ちを話したいときなどに、だれにでも話ができる安心な学校であれるよう、意識をして取組を進めていきます。

一方で、昨年度より肯定的な回答が減少した項目で「失敗をおそれずに「やってみよう」という気持ちで取り組んでいる」があります。特に低学年では10ポイントも減少しています。これは、授業や生活の場面で子ども達が自ら考えたり行動したりすることに重点をおいた指導が、子ども達にとって少しハードルが高かったり、間違うことがまだまだ恥ずかしいと気持ちを押しよけてできるところまで至らなかったりと、様々の要因があると分析しています。今後、間違えることが恥ずかしく感じなくてもいい安心な学級づくりや、子どもたちの発達段階に合わせた課題設定などを通して、子ども達が失敗を恐れず挑戦することができる環境づくりを意識して取り組みます。「授業が楽しい」「毎日が面白い」「学校が安心」の三本柱を実現するために、子ども達が自身の成長を実感でき、次の成長に進んでいくことができるような重点目標を設定し、教職員の指導方法の充実を図り、安心して学ぶことのできる学校づくりに努めてまいります。

【2. 保護者アンケートより】

1 肯定的回答が80%以上の項目は、22項目中15項目でした。特に高い評価の項目・昨年度より大きく増えた項目は、以下の項目でした。

- ・学校が保護者に授業参観や学校行事などを公開する機会は適切である。
- ・学校は、学校行事に工夫して取り組んでいる。
- ・学校が保護者に出す文書・事務連絡等は適切であり、教育方針・内容をわかりやすく伝えている。
- ・子どもは給食を楽しみにしている。
- ・先生は、子どもの間違った行動には厳しく指導してくれている。
- ・先生はこどもを理解してくれている。

2 昨年度と比べて、肯定的な回答が減少した項目は以下の項目でした。

- ・学校では、子どもに関するプライバシーが守られている。
- ・学校では、いじめのない学級づくりに取り組んでいる。
- ・学校は、地震や台風、不審者が侵入した場合の対応について、児童や保護者には行動マニュアルを示している。

3 肯定的な意見が特に少なかった項目は以下の項目でした。

- ・学校の設備・学習環境はほぼ満足である。
- ・PTA活動に積極的に参加している。

回答数が少なかったため、単純に昨年度と比較することはできないものの、例年と同様に、肯定的な回答が80%以上であったことや、肯定的な回答が増えた項目があることは、学校として、教職員が同じ方向を向いて取り組むうえでとても心強く、ありがたいと感じています。

今年度は、運動会・音楽会・授業参観など工夫をして行ったことで、たくさんの保護者の皆さんに子どもたちの頑張りを見ていただけたことが、子ども達の励みとなり、今回のアンケートの結果に表れたのではないかと思います。また、学校からご家庭への連絡について評価いただけたことは非常にうれしいことと考えています。

しかしながら、昨年度と比較をした時に、「学校では、子どもに関するプライバシーが守られている」「学校では、いじめのない学級づくりに取り組んでいる」「学校は、地震や台風、不審者が侵入した場合の対応について、児童や保護者には行動マニュアルを示している」の項目について、肯定的な意見が減少しました。子ども達が安心して通うことができる学校を目指す上で大切にしなければいけない観点と考えています。いじめの取組については、いじめが生じた場合は、組織的な対応を行うことに加えて、全学年で年間3回の「いじめ予防授業」を行い、いじめを起さない学校・学級風土の醸成にも取り組んでいます。今後はその内容をさらに発信することで、ご家庭でも支援していただけるよう進めていきます。

また、昨年度と同じ傾向ではありましたが肯定的回答が少なかったのが「学校の設備・学習環境はほぼ満足である」と「PTA活動に積極的に参加している」でした。自由記述欄においてもトイレについてのご意見を多くいただきました。学習環境については、子ども達がよりよい環境で学習に取り組むことができるよう、市にも依頼をしながら取り組んでまいります。またPTA活動については、今年度も本部役員を中心として、インターネットやSNSの活用を進め、負担を軽減しながら、継続可能なPTA活動を目指してくださっています。今後も子ども達を支える観点から、一人ひとりができる範囲で積極的な参加を促していけるPTA活動を目指してまいります。

【3. 保護者の皆様からのご意見より】

今年度も保護者の方々からたくさんの貴重なご意見、ご感想、そして温かいお言葉をいただきました。また、記名にもご協力ありがとうございました。ご記名でいただきましたご意見は、お子様や保護者の皆様のお顔を思い浮かべながら改善に向けて対応等を検討することができるため、大変ありがたいです。また日ごろ疑問に感じておられるご意見は、担任や管理職に直接お話いただくと、学校の取り組みに反映することができると考えています。ここでは、全体に関わる内容について趣旨を記載し、回答させていただきました。いただいたご意見は、全教職員が目を通し、今後の教育活動に活かしてまいります。ご理解の程よろしく願いいたします。

《学校の行事や下校時間等について》

- ・次の月の予定（時間割）が早く分かれば助かります。仕事の予定を入れにくいです
- ・年間のスケジュールが、何年生の行事かなど詳細がわからない。年間のカレンダーを載せてほしいです。
- ・個人懇談の日程をもっと早くお知らせいただきたいです。
- ・年間のスケジュールが、もう少し詳しいと助かります。それと、学校の終わる時間の明細もあると助かります。4時間授業とか、5時間圧縮とかではなく、そこから給食、掃除、挨拶を考慮した時間がわかりやすくしてほしいです。

様々な調整もあり、現在、行事予定は1カ月前を目途に学校だよりでお知らせしております。月の予定や学校行事については、できるだけ早く、またわかりやすい連絡に努めていきます。

個人懇談の調整についても、日程の確認を1か月早く行うなど工夫をし、日程決定後速やかにお知らせできるようにしたいと考えています。

《学校安全について》

- ・授業中に裏門の前を通った時に、警備の方が休憩中との貼り紙があり、門が開きっぱなしになっていました。警備員さんがいない時は施錠して、保護者含めた来校者にインターホン等を押して名乗り出てから解錠してもらう等、対策を考えて頂きたいと思いました。
- ・正門利用者です。裏門（西門）は、守衛さんがおり利用する児童も多く安心できると思います。正門の方はオートロック、防犯カメラが設置されていますが、登下校の時にはドア開けっ放しで、誰でも出入りできることに危機感を感じています。

警備員の昼休み中の対応については、門扉を閉じて休憩に入るよう指示をしております。また警備の方法についても、さらに徹底するよう再度確認し、学校の安全確保に努めてまいります。また、正門の電子錠については、安全確保の一役を担っておりますが、正門の登校時については、課題と認識しており、ピロティーでの立哨を行うなど安全確保に努めていきたいと考えています。

《ipadの家庭での活用について》

- ・iPadで宿題や連絡ノートなどで利用する機会がほとんど無いのに毎日持ち帰る必要はあるのか疑問です。特に月曜日は、荷物が多く学校までの道のりが大変です。
- ・iPadのキーボードが重すぎます。子どもに背負わせる負担を考慮してください。

吹田市の方針にあるように、文房具として当たり前活用できる子どもを育てるために、デジタルシチズンシップ教育を行っております。iPadの持ち帰りや活用については、教育的な効果も考え、適切に行っていくため検討を重ねています。家で調べたい時に調べられる道具としての活用や学習の端末としてドリルパークなど主体的な学習への活用など、充電だけのために持ち帰りをすることにならないよう、子ども達にも指導しながら、効果的な活用方法についてさらに検討を進めていきます。

【4. まとめにかえて】

「心を磨き 志を育む」という教育目標のもと、子どもたちが意欲的に取り組むことができる、その頑張りが成長を実感できる教育活動を目指して取り組んできました。子ども達が、『こんなところ頑張ったから成長してるやん！』と自らの成長を実感し、『友だちと一緒にこんなことできた！』と「協働」と「深まり」を感じることができること。これは、まさに、今、子どもたちに必要とされている力だと考えています。今回のアンケートを通して、教職員が共通の意識を持って様々な取組を進めていくことが重要であると、改めて考えています。さらに、学校での取組や毎日の学校生活を通して成長する子どもたちの姿の発信に努めますので、ぜひ子どもたちの生活や行事等の様子をご覧いただき、ご家庭で学校の話をする際の話題としていただきたいと思えます。現在本校では、国語科の研究を進める中で、自分の想いや考えを表現できる子どもの育成を目指してきました。ご家庭で、学校での活動内容や活動を通して考えたことを言語化できるようにしていただくことで、子ども達がさらに自分たちの活動を意識したり、成果を実感したりできるようになります。ぜひ一緒に子ども達の成長を支えていただきたいと思えます。

今後も子どもたちの「生きる力」を育てる組織的な学校体制をより確かなものにするために、保護者の皆様から頂いたご意見を学校として真摯に受けとめ、学校と家庭がコミュニケーションを図りながら取り組んでいきたいと考えております。ご理解ご協力をよろしく願いいたします。